

あたたかいたべものの本とくしゅう

寒さが日々増してきます。あたたかいたべものの本を読んで、心もあたたまってくださいね。

『おでんのおうさま』

山本 祐司 さく
やまもと ゆうじ さく

がんも、だいこん、ごぼうてん…。おでんだねたちが、「おれがおうさまだ!」「わたしがおうさまだ!」と、騒ぎ出しました。

さあ、だれがおでんのおうさまなのでしょう?

(TRCMARK より抜粋)
ぱっすい



ほるぶ出版



偕成社

『からすのそばやさん』

かこ さとし さく、え
かこ さとし さく、え

いずみがもりの「からすのぱんやさん」のオモチくんは、あるひ、そばをそだてているハッサクおじさんをたずねました。おじさんからそばづくりをおそわったオモチくんは、おじさんのむすめのイソちゃんとおそばやさんをつくるじゅんびをはじめ…。

(TRCMARK より抜粋)
ぱっすい

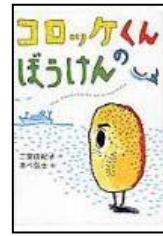
『アッチとボンのいないいないグラタン』

角野 栄子 さく 佐々木 洋子 え
かのの えいこ さく ささき ようこ え

アッチはレストランひばりのコックさん。でも、このごろちょっとへんなのです。お料理するのがつまらなくなってしまったのです。あとをまかされてしまったボンが、お料理をすることになるのですが…。



ポプラ社



偕成社

『コロッケくんのぼうけん』

二宮 由紀子 さく あべ 弘士 え
にのみや ゆきこ さく あべ ひろし え

「海の男」にふさわしいカニクリームコロッケとして生きようと決心をしたコロッケくん。パイナップルの缶詰の空き缶と、はみがきカップといっしょに冒険の旅に出発です。

(TRCMARK より抜粋)
ぱっすい

～みんなでみにいこうよう 紅葉、なぜ色がかわるの？～

あき 秋に、葉が赤くなるのはなぜでしょうか？

モミジのように、うすくてさむさに弱い葉をつける木は、秋には葉を落とすために、葉とえだのあいだに、かべのようなものをつくります。すると、葉でつくられたえいよう分が、えだにいかないで、葉の中にたまっています。

このえいよう分は、葉にたまると、赤い色のもとになり、いっぽう、もともと葉の中にあった、みどり色のもとはへっていくので、葉は赤くなるのです。また、葉が黄色くなるのは、赤い色のもとはつくられないで、もともとあった黄色い色のもとがめだつようになるからです。

はな 花のたね・木の実のちえ③ モミジのつばさ かんしゅう 蓼修 ただ 多田 多恵子 かいせいしゃ 偕成社 より



はな 花のたね・木の実のちえ③
モミジのつばさ
かんしゅう 蓼修 ただ 多田 多恵子
かいせいしゃ 偕成社



ひろって調べる
落ち葉のすかん
やすだ 守 矢真, 文
なかがわ 重年 蓼修
岩崎書店



『せんせい！これなあに？』
構成、文 有沢 重雄
しゃしん 写真 亀田 龍吉
かいせいしゃ 偕成社

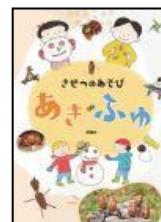
おちばやどんぐり、まつぼっくりで つくってみよう!!



『どんぐり木の実工作図鑑
②つくってかざる工作』
岩藤 しおい

どんぐりをつかって、人形やかざりをつくります。

いかだ社



『きせつのあそび あき・ふゆ』
グループ・コロンブス 編著

はっぱあそびやおもちゃづくりのアイデアがたくさんでてきます。

理論社